

遠野市農業委員会だより

遠野盆地

Tono-Bonchi

令和4年9月

No.34

きくち かすま
菊池 一真さん (41歳)

遠野市上郷町

25歳から就農し、トウモロコシ90アールとカボチャ10アール、ハウス1棟では、野菜苗を栽培しています。品質と味を向上するには、“土づくり”が重要と考え、研究をしながら意欲的に取り組んでいます。

「農業施策の充実に関する要請決議（案）」を提出

遠野市農業委員会は、上閉伊地方農業委員会（遠野市農業委員会・金石市農業委員会・大槌町農業委員会）で取りまとめた農業施策の充実に関する要請を沿岸広域圏及び岩手県農業会議を通じて、本県選出国会議員に対して提出します。

【要請事項】

I 農地等の利用の最適化の推進に関する事項

- 1 農地利用の最適化の推進
 - (1) 農地の集積・集約化対策の充実強化
 - (2) 遊休農地対策の充実強化
- 2 担い手の確保・育成への支援の充実
 - (1) 新規就農者の確保・育成の充実
 - (2) 担い手に対する支援の充実

3 中山間地域の農業振興施策の強化

- 4 農業委員会組織に対する支援の充実
 - (1) 農業委員会組織関係予算と事務局体制の充実強化
 - (2) 機構集積支援事業・最適化交付金の予算の確保
 - (3) 農業委員会業務に係る効率化支援

5 水田活用の直接支払交付金の運用見直しについて

6 肥料や飼料等の生産資材の高騰等経営環境の変化に応じた農業経営への支援

7 新型コロナウイルス感染症の影響を受ける農業者等への支援

II その他重要施策の推進

- 1 国民の食料供給体制の強化
- 2 東日本大震災津波・原発事故への継続した対策の充実強化
- 3 大規模自然災害への備えと復旧・復興対策
- 4 野生鳥獣被害防止対策の充実強化

新役員紹介



会長職務代理者
佐々木 義弘 さん（小友町）

前任者の辞任に伴い、会長職務代理者に選任されました。農業従事者の高齢化や担い手不足が懸念されている中で、世界的情勢の不安定化やコロナ禍で農業に与える影響が拡大しています。そのような中で、農業委員

会では守るべき農地を守るために、10年後に目指す農地利用の姿を現す目標地図の素案を作成してまいります。農業委員会組織一丸となって取り組んでまいりますので、農業従事者のご協力をよろしくお願いたします。

新農業委員紹介



菊池 陽佑 さん（小友町）

任期 令和4年7月26日
～令和6年3月1日

しさを知りました。いつも、皆さまからは助けられてばかりです。地域のことを学ぶところから始めようと考えておりますので、様々なことをお教え頂けると嬉しいです。どうぞ、よろしくお願いたします。

農業を始めてから、経営することの厳しさを感じることも多く、遠野で自然と共に生きてきた先輩農家さん、地元

秋の農作業安全



秋の農繁期は日没が早まることで農作業の危険性が高くなる時期です。ゆとりある計画と無理のない作業で農作業事故に遭わないようにしましょう。



令和4年度 農地パトロールを実施

令和4年度農地パトロール（利用状況調査） 調査結果（市内全域集計・速報値）

区分	筆数	面積
区分1 荒廃度が低度	27筆	25,515㎡
区分2 荒廃度が中度	12筆	20,789㎡
区分5 再生利用が困難	165筆	311,576㎡
解消	11筆	20,939㎡
合計	215筆	378,819㎡



農地パトロールの様子

今年度は、熱中症予防や蜂刺されなどの対策として例年より約1カ月早めて、6月24日に農地パトロール出発式を開催し、7月1日～7月11日の日程で市内全域を対象に農地パトロール（利用状況調査）を実施しました。農業委員、農地利用最適化推進委員、市農業再生協議会構成員、農業委員会事務局職員が連携し、延べ62人が調査を行いました。

調査の結果で、再生利用が可能な農地（区分1・2）の所有者には農地利用の推進（利用意向調査）活動を行います。また、再生利用が困難な農地（区分5）の所有者には非農地と判断してよいかなどの意向調査を行い、了承を得て非農地通知を交付します。この場合、所有者は法務局で登記地目「田」「畑」から「原野」または「山林」に地目変更する手続きをする必要があります。

農地相談会でも農地所有者から高齢化等で農業を縮小し、使わなくなった農地の管理ができないなどの相談が年々増え、課題となっております。

農地は食糧生産、自然環境の保全、治水等の役割を果たしています。農地が荒れると鹿や熊等の生息地になるので善良に管理するようお願いいたします。農村の大切な資源である農地を耕作放棄しないようにみんなで管理していきましょう。

農地に関する相談ごとはありませんか？

農地相談会を開催します

各地区の農業委員、農地利用最適化推進委員がご相談をお聞きします。

農地の貸し借りや名義変更（売買・贈与）、農地以外への地目変更など、農地に関するご相談をお受けします。

- 費用 無料
- 申込 不要
- その他 相談する農地の地番等がわかる資料（固定資産明細書等）をご持参ください。
- 問合せ 遠野市農業委員会事務局
☎62-2111

開催日	地区	会場	時間
11月1日（火）	綾織	綾織地区センター	16:00 ～18:00
11月2日（水）	遠野	遠野市役所本庁舎	13:30 ～15:30
	小友	小友地区センター	
11月4日（金）	宮守	宮守総合支所	
	松崎	松崎地区センター	
11月7日（月）	上郷	上郷地区センター	
	土淵	土淵地区センター	
11月8日（火）	青笹	青笹地区センター	
11月9日（水）	附馬牛	附馬牛地区センター	

農業者年金に 加入しませんか



農業者年金は、農業者のための公的年金制度です。加入者自身が支払った保険料とその運用益により、将来受け取る年金額が決まる積立方式の終身年金です。

次の3つの要件をすべて満たす人であればどなたでも加入できます。

◇加入条件◇

- ① 国民年金の第1号被保険者（納付免除者を除く）
- ② 年間60日以上農業に従事
- ③ 20歳以上60歳未満
※令和4年5月から、60歳以上65歳未満の国民年金の任意加入者も加入できるようにになりました。

◇農業者年金のメリット◇

- ① 保険料の額は自由に選べ、いつでも変更できます。
月額2万円から6万7千円まで
※令和4年1月から、35歳未満で政策支援加入の対象とならない方は1万円から加入できるようになりました。
- ② 脱退、再加入も自由です。
- ③ 支払った保険料は全額社会保険料控除となり、所得税や住民税等の節税になります。
- ④ 一定の要件を満たす農業者には保険料の国庫補助があります。
例 認定農業者かつ青色申告者で35歳未満の方は1万円補助

“ひまわり”で沿道に彩り添える

市農業委員会では、遊休農地解消方策のPRとして、市内数か所の遊休農地にヒマワリを植栽し、8月中旬に見頃を迎えましたので、一部をご紹介します。

宮守地区



達曽部地区



小友地区



土淵地区



全国農業新聞

発行日 月4回毎週金曜日(郵送で届きます)
購読料 700円(消費税込)
お申し込みは、各地区の農業委員・農地利用最適化推進委員または農業委員会事務局までお願いします。

遠野緑峰高校 快進撃

7月13日に農業クラブ岩手県大会が行われ、プロジェクト発表Ⅲ類で遠野緑峰高校の野菜果樹研究班が「エゴマの新たな有効利用～商品開発から広がる地域貢献～」として、エゴマを使った商品開発(麺・漬物)のプロジェクト発表を行い、最優秀賞を受賞しました。

更に、Ⅰ類では草花班が優秀賞、Ⅱ類では作畜班が優秀賞を受賞し、農業クラブ活動紹介でも最優秀賞を受賞しました。

また、8月25日、26日、青森県で開催された日本学校農業クラブ東北連盟大会に出場し、野菜果樹研究班が同プロジェクト発表を行い、最優秀賞を受賞し、10月25日～27日に富山県で開催される全国大会の出場がきまりました。



エゴマ粉を麺に練り込んだ「遠野エゴマ麺」

農業委員ひとりごと

農地専門委員会委員長 多田 登

(宮守町)



「地域の将来は地域の話し合いです」

農業委員として、今年で4年目となり、本年6月から農地専門委員会委員長を務めることになりました。

市の農業委員会専門委員会設置要綱による農地専門委員会の検討審議する事項は3項目あります。

主には、農地法による許可申請についての事前調査等で、農地転用などに係る該当農地の現況を確認し、転用等が適正かどうか判断しています。

現在の農業情勢は、全国的にも高齢化が進む中において、担い手育成と確保、優良農地の確保が重要課題となっており、耕作放棄地や遊休農地の発生防止と解消のためにも農地のパトロールを実施して行かなければならないと考えています。

また、今後それぞれの地域をいかに維持・発展し継承していくかということから、現在「地域農業マスタープラン」の実現に向けた話し合いをしています。今年度は各地域の、貸し手、借り手のマッチン

グを行い、「目標地」の素案を策定していかねばなりません。地域の条件はそれぞれ違います。が、将来の農業のためにも、各地域において多くの皆さんの参加による話し合いが必須であり、当農業委員会も地域の方々と話し合って行きたいと思っています。(前任者が会長職務代理者に選任されたことに伴い、新たに農地専門委員長に選任されました)

編集後記

令和4年度第1回目の農業委員会だより「遠野盆地」をお届けします。

新型コロナウイルスもデルタ株からオミクロン株への移行による感染拡大(感染者数高止まり)、「BA.5」「BA.2.75」と呼ばれる変異ウイルスの出現等有り。

異常気象による、高温障害、豪雨での土砂災害等被害が各地で発生しています。今年もあと少しで収穫期を迎え、作業機の確認等を行い事故もなく秋仕舞いが出来る事を願っております。

【編集委員 菊池 靖】